

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2616
	基本事業	確かな学力の育成		事業実施主体	市
	事務事業	教育相談・就学指導委員会開催事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	心身に障がいのある児童生徒の自立と社会参加を旨とした教育の実現に向け、特別支援教育に専門的な知識と深い経験を持つ医師や、大学教員、特別支援教育関係者等で構成する就学指導委員会で、児童生徒の障がいの種類、程度の的確な判断を行い適正な就学指導を行う。				
29年度概要	教育相談（年7回） 就学指導委員会（年5回） 特別支援教育の推進に係る補助金の交付 ・特別支援教育推進協議会補助 ・特別支援学級連合宿泊学習事業補助				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）		


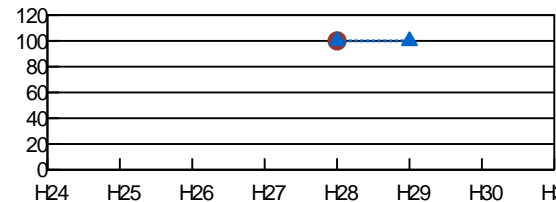
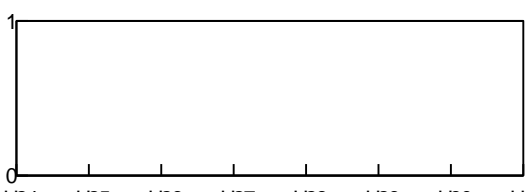
【事業の目的】

対象（何を）	市内の幼児児童生徒
意図（どのような状態にしたいか）	未来を担う子どもたちの「生きる力を育む教育の充実」には、個に応じた教育の充実を図ることが重要であり、そのために子どもの実態を的確に判断して、指導や相談を行うことを目的とする。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
教育相談・就学指導委員会の開催回数	回			11	12	5

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
就学指導委員会判定率	%	目標値			100	100	100
		実績値			100		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 教育上必要であり、本事業の実施により個に応じた教育の充実が図られ、目標どおり達成できた。 							(達成度) 100.0% 35点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度（決算）	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（予算）
トータルコスト	[円]	8,997	9,258	9,455	9,544
（事業費）	[円]	1,616	1,581	1,604	1,693
（職員人件費）	[円]	7,381	7,677	7,851	7,851

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

教育上必要であり、本事業の実施により個に応じた教育の充実が図られた。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

発達障害等の新しい障がいにも対応範囲が広がっており、その事を保護者等に広く周知を図る。